

「ホントびっくりだよ！ありえないでしょう！って思った！」

先日、突然何を思い出したのか、娘がちょっと興奮気味に話し始めました。

それは、同じ年頃のアメリカ人と向かい合い、グループで意見交換をした時のこと。その場にいたアメリカ人のほぼ全員が、足を組んで座っていたというのです。娘は、先生達もいるのにとても失礼な態度だと思ったし、私たちに対して上から目線で話しているのではないかと、ちょっと嫌な思いをしたと話してくれました。

私は、その様子を思い浮かべてみました。確かにあまりいい気持ちはしませんでした。

すると、

「お母さんも、おかしいと思った？ねっ、失礼な態度だと・・・普通は思うよね？」

と、どこか意味深長な言い回しをしてきました。そして、続けてこう言いました。

「でも、そう言えばアメリカのオバマ大統領も、よく足を組んで安倍首相と話していたよね？」

娘曰く、足を組むのは、相手に心を開いているというアピール。日本人は畳と茶道の文化なので、本当に礼儀を重んじる場面では正座をするのが基本。しかし、アメリカには床に座るという常識がなく、座るときは椅子を使うのが基本。だから、足を組むのは失礼だという日本の価値観とは 180 度異なり、アメリカではむしろフォーマル。また、アメリカは、そもそも移民大国の銃社会なので、いつどこで敵に襲われるかわからない。足を組んで座っていたら、相手からの攻撃をパツとかわすこともできないし、すぐに攻撃もできない・・・。

どうやら、アメリカでは、足を組むのは相手にフレンドリーに接して欲しいとか、リラックスして欲しい時にするようです。それを、思いがけず娘に教わりました。

足を組まないマナーがある日本。

足を組むことで、そこが和やかな場であることを印象付けるアメリカ。

実は、どちらも相手を気遣ってのことだったのですね。

「ああ、もう一度あの意見交換の場に戻れたらなあ。このことを知っていればなあ」

と、娘はとても残念がっていました。でも、この体験のおかげで、足を組むという行動ひとつで、アメリカと日本の考え方がここまで違うということや、互いを理解するとはどういうことかを身をもって学んだように思います。

娘：「あ、でも、こういう場面って、結構あるよ！」

私：「例えば？」

娘：「子どもがお母さんを喜ばせようと思ってワクワクしながら持ってきたものが、お母さんにとっては気持ち悪い虫だったり、単なるゴミにしか思えなかったりすること！」

私：「ねえねえ、それって、もしかしてお母さんのこと？」

娘は、それには答えることなく、さっといなくなっていました。

相手を思い、よかれと思ってやった行為が、相手に正しく受け取ってもらえないことは、身近にも意外とありそうです。【A】

※次回のメルマガは、1月31日（水）に配信いたします。

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)）

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」
>すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」（次回から直接、メルマガを受信することができます）

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしくお願ひします(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索